



創立30周年前後の土橋中学校の歴史

校長 井之上 良一

本校の創立30周年前後といえば、昭和52年頃に当たります。世界的には昭和52年1月に、後にノーベル平和賞を受賞することになるジミー・カーター氏が第39代アメリカ大統領に就任。翌年の1月にイランでイスラム革命が勃発し、中東情勢に一層の不安定化をもたらすとともに、政治・経済の両面で世界に大きな影響を与えることになりました。

国内に目を向けてみると、昭和52年9月に日本航空472便がインド上空でハイジャックされるという重大事件が発生しています。当時の福田赳夫首相は「一人の生命は地球より重い」と述べ、身代金の支払いや「超法規的措置」（犯人の要求に応じて、法を超えて特別に受刑者を釈放することなど）を行い、乗客・乗員全員の解放にこぎつけました。この年は、他にも国内外でハイジャック事件が複数発生するとともに、長崎ではバスジャック事件も発生しており、世情が不安定な状況にありました。

他方、国民総生産がアメリカに次いで世界第2位となるなど日本経済は依然として好調を維持し、地方から都市部への労働人口の流出は続いていました。

このような状況の中、土橋中学校における大きな変化の一つは、生徒数がほぼ半減して在籍が100名ぐらいの規模の学校になったということです。『学校要覧』によると、昭和52年度の本校の生徒数は、全校で106名であり、全学年1学級ずつの編成となっています。課外活動としての部活動は、剣道部の他にソフトテニス部や男女バレー部があり、入部率は100%。全校生徒がいずれかの部活動に参加していたこととなります。学校では文武両道の掛け声の下、共励切磋が盛んに行われていた様子がよく分かります。当時の校長先生は、第8代松永義家先生（昭和51年4月～55年3月）、後任は松元直定先生（昭和55年4月～56年3月）、その後任は濱田宗宏先生（昭和56年4月～61年3月）と続いていきます。

『学校沿革史』の中には、剣道部の活躍が「昭和56年7月地区剣道大会優勝」、「昭和56年10月地区新人剣道大会優勝」、「昭和58年7月地区剣道大会女子団体・個人優勝」、「昭和58年8月第3回神村学園剣道大会女子団体優勝」と記されています。この時代も「剣道の土橋中」は健在だったようです。

また、昭和52年3月卒業生の進学先は、伊集院高校が最も多くその半数を占めており、全体の進学率は97%に上っています。進学率は、以降も100%もしくはそれに近い数値で推移していきます。

時を同じくして、『学校沿革史』の中に頻りに記されているのが、「子ども協同組合」（子ども銀行）の表彰に関わる記述です。それらを創立30周年前後に絞って抽出してみると、右のように列挙できます。

「子ども協同組合」とは、農協の協力や支援によって運営されていた子ども銀行のことで、毎月決まった日に農協の金融担当の方が来校され、学校の中でお金の預け入れや引き出しが行われていました。

子ども銀行は、昭和23年に当時の大蔵省と文部省の通達により創設されたものであり、子ども時代から貯蓄の習慣を身に付けさせようと、各種金融機関の協力のもと教育の一環として導入されたものでした。

本校においては、昭和30年代にはこの活動に取り組んでいたことが確認できますが、多年にわたって継続実践に努めたことが評価され、数度にわたる全国表彰につながったものと思われます。近年では、お金は使ってこそ意味があり、投資を奨励する向きもあるようですが、本校に在籍された方々が「子ども協同組合」の活動を通して、お金や貯蓄の大切さについて体験的に学びを深められたことは確かなことだと思います。

さて、最後になりましたが、この時期の学校における最大の出来事は、新校舎の建設、落成とそれに伴う学校の移転でした。周知のとおり新校舎が建設されたこの地は、もともと私有の畑があった土地であり、その後、校区の総合グラウンドとして整備、活用され、昭和53年3月に学校移転用地として買収が完了しました。その間の経過はつまびらかではありませんが、昭和55年3月に新校舎の落成にこぎつけ、同年4月には始業式・入学式が挙行されています。6月には、PTAの奉仕作業により旧学校敷地の樹木の移植作業と校庭整地が行われています。この時、移植された樹々が成長し、林になっているところが、現在校内にある「土橋の杜」です。また、9月には体育館の建設工事に着工、翌昭和56年3月に完成。同じく3月に国旗掲揚台と築山が完成。9月には土橋中学校移転・新築落成記念碑と校訓碑が設置されました。この時新たに定められた校訓が「勉学・礼節・剛健」です。校訓碑に鮮明に刻印され、今なお威厳をたたえています。

これら一連の大事業を終え、装いも新たに土橋中学校は伝統の継承とともに新たな歴史を刻んでいくこととなります。その後の本校教育の新展開や本校生徒の多方面にわたる活躍につきましては、次号以降で紹介させていただきます。ご期待いただきたいと思います。

- 昭和49年11月6日
子ども協同組合県貯蓄推進委員会会長賞
 - 昭和50年10月17日
子ども協同組合全国表彰（県代表）
 - 昭和51年10月28日
子ども協同組合県知事賞
 - 昭和52年10月21日
子ども協同組合県知事賞
 - 昭和53年10月17日
子ども協同組合全国表彰（大蔵大臣賞・日銀総裁賞）
 - 昭和54年10月31日
子ども協同組合県知事賞
 - 昭和56年10月26日
子ども協同組合全国表彰（大蔵大臣賞・日銀総裁賞）
 - 昭和57年2月10日
子ども協同組合県農協記念大会表彰
- 【註】『学校沿革史』から関係事項を抜粋



移転5年後の学校（上空から撮影）

第2回学校評議員会 11/2

学校経営等について御意見や評価をいただく学校評議員会を開催しました。評議員の皆様からは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の中で、運営を工夫しながら運動会・文化祭などが実施され、生徒が一生懸命頑張っている姿に、地域も元気付けられ「生徒一人一人が主役」ということが体現されているなど、お褒めの言葉をいただきました。

また、「土橋の杜」の整備構想から、今後の学校の在り方、地域の在り方などについても意見を交わすことができました。10年後も土橋中が存在するように、日々学校がきれいになっていくように、環境整備も子どもたちの学力保障と同様に職員一丸となって進めていきます。

今回の御意見を今後の学校経営に活かしてまいります。



保健タイム 11/13

今回は、ネットポリス鹿児島代表の戸高成人(とだかなりと)さんをお招きし、ネット社会における健康問題等について講演していただきました。

目には利き目があり、電子機器を使いすぎると利き目の視力が落ちていく話は、非常に驚きました。やめたくてもやめられない「行動嗜癖」についても子どもたちはくわしく学習することができました。

家庭教育学級も同時に開催し、保護者も参加していただきました。GIGAスクール構想によってタブレット端末を使うことが多くなる子どもたちの健康を守っていくために、今回の講演は非常に有意義なものとなりました。



小中合同地域ふれあい活動 11/14

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、例年とは異なる形で実施することになったふれあい活動。前半は小学校で地域の高齢者にメッセージを書いて地域ごとに掲示物を作る活動、後半は、自治会ごとに自治公民館に向き、花壇の花植えや公民館の清掃活動を行いました。

下土橋地域では、9名の児童生徒が1時間かけて歩きましたが、小中学生・教師で会話を楽しみながらの行程となりました。公民館では、10数名の高齢者会の方々を迎えてくださり、緑化活動で育てた花苗を一緒に植えたりしながら交流することができました。小学生と中学生のふれあい、更に、下土橋公民館では高齢者の方々とはふれあえて、意義ある半日となりました。



文化祭 11/2 温故知新～12色の秋のハーモニーを感じよう～

オペレッタ、楽器演奏、歌、劇、ダンスなど、たくさんの発表があり、それぞれの持ち味を活かしたすばらしいパフォーマンスが繰り広げられました。

子どもたちはもちろんですが、職員と地域の方々の力を合わせた劇「ウメさんの笑顔」はまさに「共働」でした。小学校5、6年生の飛び入り「ハイパーおはら節」もとても素敵でした。

各教科、学年等の展示ブースもそれぞれ工夫されており充実していました。

約70名の方々が、文化祭を鑑賞していただきました。ありがとうございます。



出前授業 11/6

昨年度から取り組んでいるNIE実践。毎日届く新聞をどのように活用すればよいか試行錯誤していましたが、今回の出前授業で樟南高校の光司智徳先生からたくさんの示唆をいただきました。

新聞を注意して読まない気付かないこと(対比する記事を同じ面に載せているなど)は子どもたちの中に、非常に印象として残りました。

実際に5W1Hで新聞記事を書く練習では、積極的に取り組んでいました。

2時間があっという間だったという感想も多く見られました。

今回の学びを活かしたNIE実践を更に進めていきたいと思っております。



日	曜	12月の主な行事予定
1	火	おひさまあいさつの日 人権週間(～8日) 修学旅行(2.3年 ～2日)
3	木	修学旅行休養措置(2,3年)
4	金	人権教室(家庭教育学級)
8	火	3年生三者面談(～9日) 巡回図書
9	水	新年度PTA役員選出に係る話し合い
12	土	土曜授業 校内持久走大会
14	月	職員研修(タブレット端末の有効活用について)
16	水	校内推薦委員会
17	木	2年高校訪問
24	木	終業式 PTA小中合同校外補導
28	月	仕事納め